

3. 文献資料

(1) 評価手法に関するマニュアル

- 生きもの環境評価ツール（平成 19 年 3 月作成）

生物生息環境保全の観点から、農業水路を簡便に評価・分析するための手法が紹介されています。水路に接する機会の多い土地改良区や農家、地域住民の皆様が、身近な水路の現状を知り、どのような水路であってほしいかという、目標を設定することなどを通じて、環境との調和に配慮した水路整備への取組が増進することを目的に「生きもの環境水路評価ツール」をとりまとめています。



（資料）農林水産省ホームページ

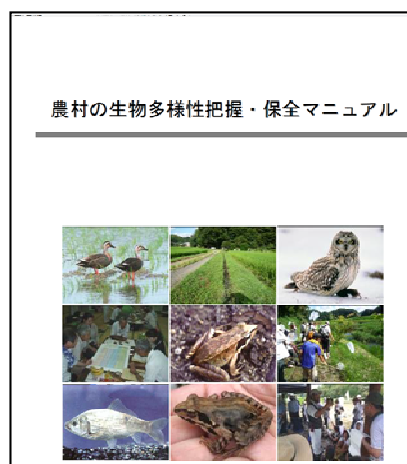
URL:http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_suiro/index.html

(2) 生物多様性保全手法に関するマニュアル

- 農村の生物多様性把握・保全マニュアル（平成 24 年 3 月作成）

「農村の生物多様性保全把握・保全マニュアル」は、生物調査の手法、地域主体における生物多様性を理解する手法や地域が主体的に実施可能な保全手法を含んでおり、これらが一連の流れとしてまとめられています。また、調査や保全活動の対象を希少生物などに限定せず、地域の主体が興味関心を持ちやすい「生きものの恵みをもたらす生物」も含めています。このマニュアルは、参加する地域住民への指導を行う活動組織のリーダーを活用対象者として作成されています。

本マニュアルとその概要版は、農林水産省ホームページより取得することができます。



（資料）農林水産省ホームページ

URL:http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_hozen/manual.html

- **生物多様性保全管理手法事例集（平成24年3月作成）**

「生物多様性保全管理手法事例集」では、全国で実施されている魚道の設置や水路内環境改善などの具体的な保全手法や事例が紹介されています。取組による効果や、その課題などが簡潔に記されています。

本事例集は、農林水産省のホームページより取得することができます。



（資料）農林水産省ホームページ

URL :

http://www.aff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_hozen/manual.html

- **生息環境向上技術マニュアル（平成23年3月作成）**

「生息環境向上技術マニュアル」は、農村地域に生息する生物の生息環境全体を視野に入れ、農村地域において生物の生息環境を保全向上させる取組を行う際のマニュアルとして整理されています。施設の維持管理手法や運用、モニタリング、外来生物対策などのハード整備における手法と、整備した施設の効果をさらに高めるための保全活動の観点からも整理されており、具体的、実践的なマニュアルとして活用することができます。また、国内の事例が非常に多く掲載されています。

本マニュアルの取得に当たっては、各地方農政局にお問い合わせください。

- **農村地域における外来生物対策（平成20年3月作成）**

「農村地域における外来生物対策」は、外来生物による土地改良施設や生態系への影響を把握するとともに、未然に侵入を防止する方法や、侵入した外来生物を防除する方法などを整理した指針です。

本資料は、農林水産省のホームページより取得することができます。

URL : http://www.aff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/k_gairai/index.html

(3) 企業の生物多様性保全参画に関するマニュアル

● 生物多様性民間参画ガイドラインのご紹介

「生物多様性民間参画ガイドライン」は、初めて生物多様性に関する取組を行おうと考えている事業者の実務担当者を対象とし、生物多様性保全に関する活動への事業者の参画を促すことを目的として作成されています。事業者が自主的に保全活動に取り組む際の指針や実践のためのヒントなどが紹介されています。

本ガイドラインは、環境省のホームページから取得することができます。



(資料) 環境省ホームページ

URL : http://www.env.go.jp/nature/biodic/gl_participation/download.html

4. 参考文献

- ・ 経済産業研究所「生物多様性と生態系サービスの経済分析」
<http://www.rieti.go.jp/jp/papers/contribution/managi/01.html>
- ・ アミタ持続研(2011)『生きもの田んぼ&生きもの畑を育む実践アイディア手帖』
- ・ 地球環境戦略研究機関(IGES)(2011)「生態系と生物多様性の経済学(TEEB)報告書 日本語版(仮訳)」
- ・ 田中淳志, 林岳(2010)「農業生産における生物多様性保全の取組と生きものマーク農産物」『農林水産政策研究所 環境プロジェクト研究資料第2号』, pp.1-50。
- ・ 農林水産省(2012)「農業に有用な生物多様性の指標生物調査・評価マニュアル」
- ・ 農林水産省(2012)「農村の生物多様性把握・保全マニュアル」
- ・ 林野庁(2009)「林野公共事業における費用対効果算定マニュアル」料第2号』, pp.1-50。

【写真・資料提供者／協力者一覧】（五十音順・敬称略）

川廷 昌弘 （株式会社 博報堂）
栗山 浩一 （京都大学大学院 農学研究科生物資源経済学専攻）
香坂 玲 （金沢大学大学院 人間社会環境研究科地域創造学専攻）
佐々木 正顕（株式会社 積水ハウス）
橋本 禪 （京都大学大学院 地球環境学堂）
林 良博 （独立行政法人 国立科学博物館）
渡辺 竜五 （佐渡市役所 農林水産課）

農林水産省 大臣官房環境政策課

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

相川 高信 小川 拓哉 藺 巳晴 西田 貴明 森口 洋充

2014年3月発行

自然資本を活かした農林水産業の手引き
～生物多様性保全の経済的連携に向けて～

発行 農林水産省
〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL: 03-3502-8111

委託 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー
TEL: 03-6733-1000（代表）
